

領域：	パブリック		
テーマ：	日本の仕事・教育・結婚について考える		
担当者名：	上村一樹		
開講時期：	後期：金曜 4・5・6 限	募集定員：	25 名
内容：	労働力不足、教育格差、未婚・晩婚化など、日本社会には、さまざまな問題があります。これらの問題は、若いみなさんにとっても身近なものです。教員⇄履修者、履修者⇄履修者での双方向学習を通じて、こうした社会問題について、現状・課題・展望を考えられるようになることを目指します。		
到達目標：	仕事・教育・結婚といった、身近な問題について、自分なりに問題点を整理し、対策を考えられるようになること。		
講義方法：	レポート作成、ディスカッション、プレゼンテーションなどを中心とします。履修者は事前配布資料に目を通しておく、講義中に完成しなかった場合にはプレゼンテーション資料を作成する、といった準備が必要になります。履修者のみなさんの発言、発表が講義の中心となります。教室に来て座っているだけでなく、とにかく「参加」してください。		
準備学習：	ネットやテレビ、新聞や雑誌を見る際、仕事、教育、結婚・育児などの問題について、よく注目しておいてください。		
成績評価：	授業中の発言・発表の回数や内容、発表資料やレポートの内容を中心に評価します。学習意欲・参加意欲が低い場合、他の履修者の妨げになる場合は、不可になります。		
欠席基準：	授業実施回数の 3 分の 1 以上休んだ場合は、単位を修得できません。出席回数が足りている場合でも、学習意欲・参加意欲に欠ける場合、他の履修者の妨げになるようなことをする場合には、不可にします。		
講義構成：	最初の数回では、それぞれの回において、就業、転職、賃金、進学、結婚といった、具体的なテーマを取り上げ、ディスカッションを行った後、レポートを作成するという形で、知識・関心を深め、視野を広げます。その後、11 月末までの数回は、他大学との合同発表に向けて、いくつかのグループに分かれて、発表の準備を行います。最後の数回は、これまでの成果を元に、個人別にレポート（プレゼンテーション資料）を作成することを目標とします。		
履修条件：	他大学との合同発表会（合同発表する週のプロジェクト科目は休講）を目標としているため、外部との交流に積極的な人が望ましいです。		
推奨科目：	こうした問題をより詳しく学びたい人は、後期の「企業と経営Ⅰ（上村）」も履修してください。		
選考方法：	募集定員を上回った場合は、これまでの成績や履修態度を元に決定します。		
備考：			
説明会：	なし		